

2024年(令和6年)

第871号

編集及び発行人：
東京土建一般労働組合
杉並支部

杉並区高円寺南3-6-2

TEL(3313)1445

FAX(3313)7096

メール doken-suginami@mx10.ttcn.ne.jp

定価1部50円(購読料は組合費に含む)

8月

●建設業に働くみなさんの仕事とくらしを応援します

すぎなみ

支部会館休館のお知らせ

下記日程は休館となります。ご了承ください。

9月2日(月)終日 書記局会議

土・日・祝日も休館

無料経営相談会

8月30日(金)10時~12時

けんせつプラザ東京(要予約)

貴重な
火起こし体験



今回のキャンプでは、初めて子どもたちが、火起こしを体験しました。昔、授業で火起こしをやったことがある大人がお手本となり、火起こしにチャレンジ。でも残念ながら火を起こすことはできませんでした。



森の中に 歓声がこだまする

7月20日から21日にかけて、山梨県甲武キャンプ村で後継者対策部主催「大キャンプ交流会」が開催されました。試験の坂と呼ばれる長い下り坂を終え、橋を渡り人間界の垢を落とす鳥居と、森の人になる鳥居を抜けると、そこはコテージが広がるキャンプ村でした。大自然に触れる機会の少ない子どもたちの歓声が森の中にこだました。

後継者対策部では、今後も家族が楽しめるイベントを計画していきます。参加お待ちしております。



児玉 一史
後継者対策部長

みんなで魚のつかみ取りをした後、河川敷に移動してスイカ割りを開催。小さい子たちは目隠しをせずに重い棒を持って参加しました。「そのまま、そのまま!」みんなの声援が力になり、見事スイカを割ることができました。



今年も
火の神様降臨



花火の
共同作業

夜は、毎年恒例のキャンプファイヤーです。今年も「火の神様」が降臨して、たいまつからやぐらに点火。手持ち花火をみんなで楽しみ、最後はやぐらを囲んでみんなで「マイムマイム」を踊りました。



みんなで作った
カレーは格別

毎年恒例のカレー作り。野菜の皮むきやカットを子どもたちに協力してもらいました。普段からのお手伝いで包丁を使ったことがある子、初めて包丁を使う子など、さまざまでしたが大人たちがサポートしてカレーが完成。みんなで作ったカレーは格別でした。



みんなの声援が力に

梅雨が明け、暑い日が続いていました。山の中にあるキャンプ村でしたが、日なたはとても暑く、川遊びには最高の日となりました。流れが少し速い川でしたが、岩の上から飛び込みをしたり、大人も子どもも夢中になって楽しみました。



川遊びに夢中

建設国保予算
現行水準確保を

全国から2,001人集結

建設従事者の処遇改善、建設国保の育成・強化に向けて全国から46県連組合2,001人(東京土建は835人、うち杉並支部29人)が参加しました。午前中は都庁第二庁舎に集まり、交渉団を送り出し、1時間ほど集会を開催。午後は日比谷野外音楽堂に移動し、降り続ける雨の中、予算要求中央総決起大会をおこないました。

国会で採択され、法改正につながった100万人請願署名の成功について「21年ぶりに、全建総連として新たな歴史を作ることができた」と全建総連の中西委員長は述べ、勝野書記長は、持続可能な建設業実現に向けて「画期的な成果だがゴールではない。請求要求していくことが益々重要」と語りました。その後、大会決議を採択して集会は終了しました。

7.12予算要求中央総決起大会



雨の中参加した杉並支部の仲間



支部の
ホームページは
こちら

<https://www.doken-suginami.org/shibu/index.html>

東京土建杉並支部

検索

平和の願いと金もうけ
(青木 隆之・常任執行委員)

片陽

▼7月26日に杉並平和のつどいが開催され、原水禁世界大会へ参加する杉並代表団壮行会がありました。土建からも青年部2名が代表参加します。本人たちの平和への気持ちと、代表として参加する事の尊さを感じました。東京土建の仲間から送り出せることも私ほうれしい▼平和でいたいという人間の持つ素直な感情が、なぜだか各々の国が平和であればいいという形で国と国が互いにぶつかり合ってしまう。これが戦争となる▼壮行会の前に講演をしていただいた川田忠明さんの話の中で、世界でつくられている核兵器に日本の主要な銀行(みずほ・三井住友など)が何らかの関わりで投資をしているという事に驚かされた▼通常兵器メーカーへの投資にも問題視される中、核兵器への投資などもつて他、金のためなら核でも良いのか?と思う▼アメリカ大統領選挙も近いように、おこなわれる。東京土建の講義で多少の知識を得たこともあり、興味深く報道を注視している。



第 368 回

私は宮城県仙台市に生まれました。名前の由来は男で 2 番目なので「次郎」です。小さい頃、食べ物が好きで、自分で作り方を覚えたかったので、高校卒業後は上京して、日暮里にある中華料理屋に就職しました。就職先はスポーツ新聞から自分で見つけました。この頃の町中華は、今ほど数は多くはありませんでしたが、どこも繁盛していて活気があり、料理人は輝いて見えました。

20 歳になる頃、常連の電気工事のお客さんからうちで働かないかと誘いがあり、ちょうど手に職をつけて全国を旅したいと思っていたので、思い切って転職を決意、電工の見習いとして足立区に住み込みで働きはじめました。

いざ電気工事をやってみると、配線工事の事は面白かったのですが、給料がとても安く、将来に不安を感じ、当時単価の良かった塗装工事会社に再就職しました。24 歳の頃です。6 年ほど修行を続

あんたはペンキ塗り好きなんだね

寺田 次郎さん 浜福・塗装

け、30 歳に塗装工事の個人事業主として独立しました。この頃に仲間の職人からすすめられて組合加入しました（群会議での組合費納入がうまくいかず、このあと組合は辞めてしまいました）。法人化したのは 34 歳（平成 2 年）の頃で、青森出身の見習い 2・3 人をアパートを借りて住ませ、多い時で職人は 13 人くらい居たこともありました。

杉並区永福に引っ越した頃、近所の塗装屋さんの木村久七さんに誘われ組合に再加入しました。労災保険の手続きなど、組合では大変お世話になっています。

趣味はゴルフです。ジャンボ尾崎が活躍していた頃、工務店のゴルフコンペが頻繁に開催されていて、大工さんに誘われて始め今に至ります。

「あんたはペンキ塗り、好きなんだね」。お客さんに言われた言葉です。きつと、楽しそうに仕事している雰囲気伝わったのでしょうか。自分はペンキで汚れますが、汚い場所を美しく仕上げた時の喜びに勝るものはありません。

妻と娘に感謝しながら、今後仕事にまい進したいと思っています。

取材 双木 淳志



24 年 7 月事業所交流会「ゴルフコンペ」での寺田次郎さん



7/13阿佐谷分会

2分会が住宅デーを開催



7/7 泉南分会



短冊飾りのお手伝い

地域行事との タイアップから 仕事の掘り起こし

阿佐谷分会は、杉七小盆踊りとタイアップで開催しました。盆踊りのやぐら組立て依頼が東京土建にあり、その流れから「工作教室」を出店。「ガリガリとんぼづくり」をおこないました。

1 日目は 60 人、2 日目は 80 人の小学生が初めて手にするヤスリや金づちで汗をかきながら生懸命つくりました。用意していたガリガリとんぼの材料が無くなったほど大盛況でした。

泉南分会は妙法寺にて「夏のふれあい千日紅花祭り」とタイアップして住宅デーを開催。住宅相談のほか、笹竹の短冊飾りと天然の木を使った鉛筆づくりをおこないました。

木工教室はこのほか好評で、参加した親子で親御さんの方が熱くなっているという光景も見られました。当日は 35 度を超える猛暑となり、熱中症も心配されましたが、事故もなく終了しました。

どけん生命共済 死亡共済金



生前に受取人 指定できます

組合員ご本人が亡くなられた時、死亡共済金としてご遺族には 80 万円の弔慰金をお支払いします（64 才以下で加入した組合員が対象。受給資格は組合加入日の 6 ヶ月後の 1 日）。

このどけん生命共済死亡共済金は、受取人順位を規程していますが、生前組合員本人が順位に関わらず受取人を指定することができます。受取人が「内縁の配偶者」「兄弟」のケースや「身寄りがいない」「結婚・再婚などで離れて暮らす子どもがいる」などの場合は、事前に受取人指定をしておくことをおすすめします。詳しくは支部までご相談ください。

共済給付

7 月慶弔傷病見舞金支給
31 件

■おめでとう

■お大事に

受けています。（敬称略）

【資格取得】

6 件

【結婚】
木村 剛瑠（井 荻）
瀬戸 晶子（西 荻）
中村 光宏（企 業）
【出産】
保坂 満久（井 荻）
藍川 真樹（西 荻）
澤 康太郎（中 央）
【新入学】
ほか 1 件
6 件

【傷病見舞金】
高橋 孝志（井 荻）
林 美代子（井 荻）
内田 邦正（井 荻）
横川 光子（西 荻）
及川 利克（阿佐谷 中央）
鈴木 一郎（中 央）
菅原 陽子（浜 福）
遠藤 勝（高 和）
黒石 光宥（泉 南）
ほか 3 件